

NO.19



あやめ通信



大人版
10月号

小説

真保裕一『共犯の畔』

柴田よしき『お勝手のあん 10』

今野敏『リミックス』

柴田よしき『お勝手のあん1』

ヒラリー・R・クリントン『ステイト・オブ・テラー』 柴田よしき『お勝手のあん2』

高森美由紀『ちゃっけがいる移動図書館』

夕木春央『十戒』

新庄耕『地面師たち』

星田英利『くちを失くした蝶』

実用書

児島恭子『アイヌ語地名の歴史』

芦垣裕『米ビジネス』

関口妙子『ドール服大全ベーシックスタイル』

向井承子『「記憶」のなかの戦後史』

奥田香代『飼い主のための”犬のお手入れ”の教科書』

黒岩麻里『「Y」の悲劇』

今月の1冊

河崎秋子

『肉弾』

先日受けた研修の基調講演の講師が河崎秋子先生だったので、先生のご著書から『肉弾』を紹介します。

何にも情熱を持たず大学を中退した無職の青年・貴美也は、父・龍一郎につれられて釧路に降り立つ。父の趣味である狩猟につきあわされるのだ。その2日目、龍一郎は貴美也を同行させて摩周湖付近の国立公園に忍び込む。狙いは、ヒグマだ。

人界と隔絶されたとも思える世界で交差する過去と現在、父と子、そして人間と動物。彼らの衝突の熱と生々しさはまさに『肉弾』。

ぜひ河崎先生のプロフィールもご覧になってください。生まれも育ちもすつとぼして一言目「羊飼い。」なんと先生、以前は酪農従業員として羊を飼いつつ執筆をされていたそうで、農業雑誌で紹介されたことも。さらに驚いたのは、大学時代アルバイトで地域史を調べていたそうで、現在も執筆のための情報収集としてインタビューなどされているそうですが、『肉弾』のとあるシーンは元ネタがあるそうで…。「事実は小説よりも奇なり」でした。

学文ニュース 小学2年生図書館見学

長万部小学校の2年生が生活科の授業で図書館見学に来てくれました。

図書館職員への質問をして、図書館職員の話聞き、図書館内を見学してと、慌ただしくもいい経験をしてもらったのではないかと思います。

その日のうちに先生の届けてくださった「おれいのおてがみ」では、「閉架書庫」の見学が心に残った子が多かったようで、案内できてよかったです。

「図書館職員体験」という企画で小学生の図書館見学と同様のプログラムを組むことができますので、ご興味のある方はぜひ「図書館職員体験」開催の際にお越しください。



図書館職員への質問の様子

 サロンオーケストラエイト

学文・役場でチケット発売中。

 ヤマハ音楽発表会

10/19(土)、10/20(日)

 図書館まつり

10/27(日)～11/10(日)まで。イベントの内容は後日掲示するチラシをご覧ください。

 アイヌ紋様切り絵体験

10/27(日)13:30～
お問い合わせは役場の新幹線推進課まで。(TEL:2-2450)

定休日:毎週月曜日

開館時間:10:00～18:00

10月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
	休館日					
13	14	15	16	17	18	19
	休館日					
20	21	22	23	24	25	26
	休館日					
27	28	29	30	31		
	休館日					

～長万部町学習文化センターからのお知らせ～

